

2026年6月30日

第50期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

貸 借 対 照 表

(2 0 2 6 年 3 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	264,242	(負 債 の 部)	161,907
流 動 資 産	262,085	流 動 負 債	161,907
現 金 及 び 預 金	1,994	買 掛 金	90,127
売 掛 金	125,263	未 払 金	18,888
商 品	15,975	未 払 費 用	18,847
前 渡 金	26,300	未 払 法 人 税 等	14,368
前 払 費 用	5,244	未 払 事 業 所 税	128
短 期 貸 付 金	87,349	未 払 消 費 税 等	6,186
貸 倒 引 当 金	△42	預 り 金	32
		賞 与 引 当 金	12,667
固 定 資 産	2,157	役 員 賞 与 引 当 金	660
有 形 固 定 資 産	1,333		
建 物 附 属 設 備	386	(純 資 産 の 部)	102,335
器 具 及 び 備 品	946	株 主 資 本	102,335
		資 本 金	10,000
無 形 固 定 資 産	824	資 本 剰 余 金	3,323
ソ フ ト ウ ェ ア	824	資 本 準 備 金	2,500
		そ の 他 資 本 剰 余 金	823
		利 益 剰 余 金	89,012
		そ の 他 利 益 剰 余 金	89,012
		繰 越 利 益 剰 余 金	89,012
合 計	264,242	合 計	264,242

個 別 注 記 表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商品	総平均法
----	------

貯蔵品	個別法
-----	-----

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
--------	-----

無形固定資産	定額法
--------	-----

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金	売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。
-------	--

賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
-------	---------------------------------------

役員賞与引当金	役員賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
---------	----------------------------------

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

控除対象外消費税等の会計処理	控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
----------------	----------------------------------

6. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益は、商品の販売によるものであり、顧客に商品販売した時点で収益を認識しております。なお、商品の販売のうち、当社が代理人に該当すると判断したものについては、顧客から受け取る対価の総額から仕入先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識しております。

当期純損益金額

当期純利益	89,012千円
-------	----------